

## 第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市民生活部
	課名	防災安全課
	係名	消防防災係
記入者		電話(内線) 281

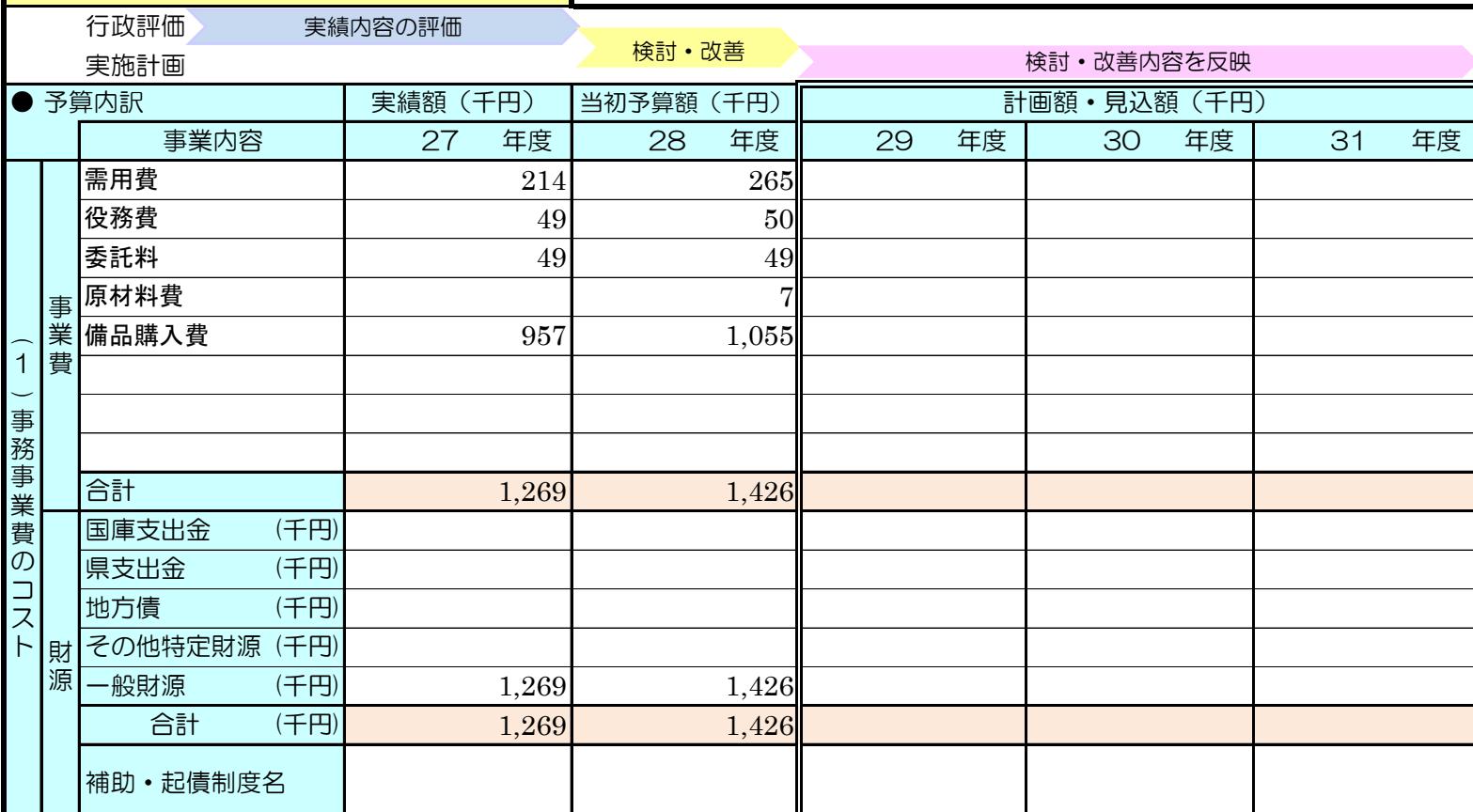
## 1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	施設管理事業(消防施設)	(3) 事業の 優先度	B
(4) 総合計画での位置づけ			(6) 事業主体	市	
① 事業の区分	主要事業		(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質 会計区分 財源区分 予算科目 予算書上の 事業名称	一般事業費(ソフト事業) 一般会計 市単独 款 9 項 1 目 3 施設管理経費 (予算書 149 ページに掲載)
② 施策コード	24401	(総合計画掲載ページ 84 ページ)			
基本目標(政策)	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)				
基本施策	2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)				
施策	④消防・救急体制の強化				
施策内容	1消防団施設の整備・更新				
(5) 事業期間	開始 平成 27 年 4 月から	終了 年 月まで ( 力年)	(8) 事務分類	自治事務 根拠法令 消防組織法 消防法	

## 2. 事業の目的及び内容

(1) 対象（だれに対して・何に対して行うのか）	(3) めざす姿（意図・どのような状態になるのか）
結城市消防団員及び消防関連施設	消防団の活動拠点施設である詰所及び消防ポンプ車両の維持管理を充実させることにより、本市の消防防災体制を強化する
(2) 手段（事業内容・どのようなことを行うのか）	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
消防団詰所、車両の維持管理	
(5) 事業をとりまく環境の変化（社会環境、市民ニーズ等）や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
消防団の活動拠点となる詰所、車両において、老朽化しているものの更新、修繕が必要である	

### 3. 事業コスト



#### 4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	消防施設修繕		目標値 実績(見込)値	件 4	8 8	8	8	8
	備品購入(ホース、吸管等)		目標値 実績(見込)値	件 22	15 15	15	15	15
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	機能低下をもたらす破損、要修理			目標値 実績(見込)値	件 4	8 8	8 8	8 8
				達成率	50.0 %	100.0 %		
				目標値 実績(見込)値				
			達成率	%	%			

#### 5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

#### (2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	消防団活動における環境整備のためには必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	
	手段の妥当性	A	妥当である	
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	定期的な点検を実施することにより、軽微な修繕で済むように取り組んでいく。
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	早急な対応を心掛けてはいるが、予算の都合もあるので、十分な配備がなされているとはいえない。
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	成果は上がっているものの、十分ではない。
進捗度	事業の進捗	C	遅れている	老朽化が進むホースなど、十分な更新はなされていない。

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

ホースなどは消耗品であるため、定期的な補充が必要である。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

必要数の調査及び、更新に関する計画を作成する。

#### 6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1)記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2)一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	当該経費は消防施設の維持管理等に要する経費であり、今後も継続して消防設備の充実を図る必要がある。
(3)最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。